

保護者 様

勝浦市立興津小学校
校長 太田 達之

第1回 学校評価の結果について—保護者・教職員—（お知らせ）

（評価について）

・数値については、回答の「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を含めた数値です。4点が満点とし、肯定的な評価は3.4（85％）を基準にしています。（小数点第2位四捨五入）

1 子どもたちに関する内容

項 目	保護者
子どもたちは、学校に行くことが楽しそうです。	3.7
子どもたちは、挨拶がしっかりできています。	3.0
子どもたちは、宿題など家庭学習の習慣が身についています。	3.2

（考察）

・子どもたちに関する内容については、おおむね肯定的な評価でした。「子どもは学校へ行くことが楽しそう」については3.7と比較的高い肯定率でした。児童アンケート「毎日学校に来ることが楽しいです」も3.8と同様でした。挨拶については、児童アンケートでは3.8と高いポイントとなっており、保護者との捉え方の乖離が見られます。児童は対外的な場面等オフィシャルな場面ではしっかり挨拶をしているという意識で回答しているのではないかと思います。今後は道徳や特別活動等の授業を通し、挨拶の意義や良さを指導し、どんな場面、時でも気持ちよく挨拶できる児童の育成に努めます。家庭学習については、ICT等も活用し、各学年及び個々に適した学習内容・方法を工夫して、進め方について検討してまいります。

2 学習に関する内容

項 目	保護者	教職員
教師は、教材・教具をよく活用し、児童の興味・関心を大切にした「わかる授業」の工夫に努めています。	3.5	3.8
授業では、学習ルールが守られた雰囲気の中で、子どもたち一人一人が自ら進んで学習しようとする態度が養われてきています。	3.4	3.7
学校では、子どもたちが自ら進んで行動できるように行事や係活動等の工夫・支援をしています。	3.4	3.8

（考察）

・どの項目も比較的高い肯定率を示しています。保護者と教職員の肯定率に多少の差異が生じています。今後は、児童の学校の様子、特に学習状況に関する様子を便り等で意図的に発信してまいります。

3 生徒指導に関する内容

項 目	保護者	教職員
問題行動（いじめなど）の早期発見に努め、問題があれば解決に向けて学校全体で取り組もうとする姿勢がみられます。	3.4	3.8
学校生活の中で、支援が必要な子どもがいれば、その子どもへの理解を深め、問題に対して誠意を持つて的確な対応をしようとしています。	3.5	4.0
学校では、児童が社会の一員として身につけるべき内容を適切に指導しています。	3.3	3.9

（考察）

・どの項目に関しても保護者、教職員ともに肯定的な回答が多かったです。「学校では、児童が社会の一員として身につけるべき内容を適切に指導しています」に関して、保護者のポイントが3.3でした。反面、職員意識は3.9と高く、保護者と職員意識に乖離が見られます。児童が生活する集団母体の規模が大きくなる8年度からの統合に向け、これらの育成は重要だと考えます。今後は保護者の願いや思いを理解し、対応してまいります。また、ほかの2項目においても保護者・職員の捉え方に差異が生じています。全職員で全校児童個々の様子をきめ細かく捉え共有し、児童への理解を深め指導に生かすと同時に、保護者の皆さんと連絡を密に取り、その願いや不安に対応していきたいと考えます。また、必要に応じ教育相談の実施、相談窓口の周知や相談箱の活用、スクールカウンセラーとの連携等、児童が安心して過ごせる学校の雰囲気を作ってまいります。

4 健康・体力向上に関する内容

項 目	保護者	教職員
学校では、子どもたちが健康で規則正しい生活習慣が身につくように、家庭と連携をとりながら指導を行っています。	3.5	3.7
学校は、子どもたちが運動に親しむ資質やバランスのよい体力を養うために、教育活動の中で計画的に実践しています。	3.3	3.9
学校では、児童の健康な体作りを目指し、家庭と連携しながら「食育」に計画的に取り組んでいます。	3.2	3.7

（考察）

・「学校では、児童の健康な体作りを目指し、家庭と連携しながら「食育」に計画的に取り組んでいます」「学校は、子どもたちが運動に親しむ資質やバランスのよい体力を養うために、教育活動の中で計画的に実践しています」について教職員との意識の差異があります。親子給食等、食育の場は設定していますが、それだけでなく「食育」「体力作り」を連動させるなど、今後は児童が自身の食生活や健康について自主的に考える場を増やし、効果的な体作りを目指していきたいと考えています。

5 安全に関する内容

項 目	保護者	教職員
学校では、校舎内外の施設・設備の整備に努め、安全で整った教育環境づくりを心がけています。	3.5	3.9
学校は、各種避難訓練や交通安全指導を通して、安全で安心な学校生活ができるように計画的に指導しています。	3.5	4.0

(考察)

・安全に関する内容については、どの項目もおおむね肯定的な評価でしたが、教職員との意識の差異があります。各種避難訓練や交通安全教室等の様子を伝えるだけでなく、施設、設備の安全対策等についても便り等でお知らせし、ご家庭と共有できるようにしたいきます。また、学校生活で考えられる様々な場面、状況を想定した効果的な訓練の実施及び指導等を行い、児童の安全への意識を高めて行きたいと考えます。

6 家庭・地域・学校の連携に関する内容

項 目	保護者	教職員
学校の教育方針や教育目標・指導の重点は、家庭に分かりやすく伝わっています。	3.2	3.8
学校では、保護者や地域の方の「願いや信頼」に応えようと努力しています。	3.3	4.0
学校は、保護者からの問い合わせや来校者に対して、迅速・適切に対応しています。	3.6	4.0
学習内容や授業の様子について、各種便り・連絡帳・授業参観・ホームページ等を通してよく知ることができています。	3.4	3.9
学校は、地域の人材や教材を教育活動に有効に取り入れています。	3.3	3.8
個人面談・各種便り・メール・連絡帳・電話連絡などを通して、学校と家庭や地域との意思の疎通が図られています。	3.5	4.0

(考察)

・「学校の教育方針や教育目標・指導の重点は、家庭に分かりやすく伝わっています」「学校では、保護者や地域の方の「願いや信頼」に応えようと努力しています。」の保護者の回答は3.4に達していませんが、どちらも全保護者が「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答し、全肯定率は100%です。今後は、学校の教育方針等へのご理解を深めていただくためにも、授業、行事等がどんな力を育成するためにどのように行うのか等を随時発信していきたいと考えます。

また、今年度は磯観察に地域の方を講師として招聘したり、地域の読み聞かせボランティアの方の読み聞かせを再開したりと昨年度よりも地域人材を活用する学習機会は増えています。これらを踏まえ、「学校は、地域の人材や教材を教育活動に有効に取り入れています。」の項目に関しても、情報提供の機会をさらに増やしてまいります。